



平成28年の通年議会は平成28年3月1日から平成29年2月28日です。

- 平成28年度一般会計当初予算と主事業 …… P2・3
- 予算特別委員会の審議内容 …………… P4・5
- 1月会議 2月会議 …………… P8
- 議会報告会&意見交換会 …………… P9
- 一般質問 …………… P10~22
- 表紙の説明・編集後記 …………… P24

これぞ男のロマン!
料理教室 (千年樹の里)



手元不如意の包丁さばき



仲良く会話を交わすのが元気の秘訣

出会いが生まれる楽しいひととき

横町 高橋 勇治
総勢16名の老生徒が4班にて浜岡一美先生より今日のメニューの説明①山賊焼き②信濃路サラダ③のっぺい汁の3種類、作り方を授かりマニュアル用紙を頼りにスタート。まず山賊焼きに挑戦するニンニク2粒と生姜を搾り下ろして醤油、砂糖、塩、胡椒、赤唐辛子等で調味し用意された鳥肉と共にビニール袋に入れ潰け込み一時間後にフライパンで揚げ。又、12種類の野菜、特に

セロリ、人参、ゴボウを回しながら切るこつ指指導を授かるも上手いかな。この具材どこに入れるのかも解らない状況。4人で判断しながらの悪戦苦闘。約一時間二分で完成と安堵するも鳥肉の揚げ具合が甘く電子レンジの世話になる。4人協力で作った料理の味は予想を超えておいしく出来た。
お酒を酌み交わし語らう、これぞ男のロマンそこに新たな出会いが生まれる楽しいひとときでした。来たれ次回の料理教室へ!

新しい仲間と楽しい料理

栗ヶ丘 塩尻 利一
2016年3月17日午後4時から
千年樹の里の調理室にて、男の料理教室を開催されました。
(松本地方の郷土料理、山賊焼き)・(信濃路サラダ)・(のっぺいじる) 3品を作りました、4班に別れて、和気あいあいと作って行きました、特に山賊焼きが美味しく出来

たかな?と感じました、サラダ、えのき・スナップえんどう・くるみ・セロリ・にんじん・生わかめなどを混ぜて作りました、のっぺいじるは、大根・にんじん・ごぼう・薄あげ・こんにやく・長ねぎ・だし汁、とろみで片栗粉少し入れてとろみ付けました、作った料理でみんなと、お酒をいただきました。
大変よい交流会が出来ました。

【表紙の写真】

男性の料理教室
3月17日 午後4時~千年樹の里調理室
主催・小布施町社会福祉協議会
開催の趣旨・高齢者ができる限り介護状態に陥ることなく、健康で生き生きとした老後生活を送れるよう支援することを目的としている。
「食事・排泄など日常生活を送る基本的な動作より少し複雑な買物・食事の仕方など手段的な日常動作を通して訓練を行っています」この事を(IADL訓練事業)といいます。
年3回、今回9回目の開催となり、次回開催は7月。詳細な日程、参加希望等は社会福祉協議会へお問い合わせください。
小布施町社会福祉協議会(242-6665)

編集後記

「二月は行く」「二月は逃げる」「三月は去る」では四月はどうだろうと考えてみました。四月：桜の花のイメージと同時に入学や入社など新学期・新年度という印象が強くなりました。新しい出会い・スタート・フレッシュユ:この季節になると身も心も浮き立ち嬉しくなります。本誌が届くと思うだけでも気持ちが悪くわくわく町民の皆さんにわかりやすい議会をめざして、町政・町議会の情報を迅速に発信していきます。
「四月は知り合う」でしようか。

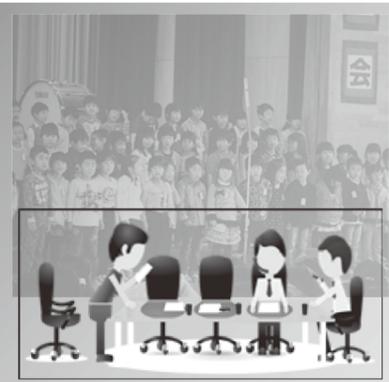
発行責任者	議長 大島 孝司
議 長	大島 孝司
議会広報常任委員会	
委員長	小林 茂
副委員長	山岸 裕始
委員	中村 雅代
	福島 浩洋
	川上 健一
	小林 一広
	大島 孝司

ここに注目



小学校にエアコン設置工事
3,551万円

小学校のすべての教室にエアコンが設置されます。



コミュニティスクール運営費
76万円

小布施学園コミュニティスクール運営委員会を設置します。



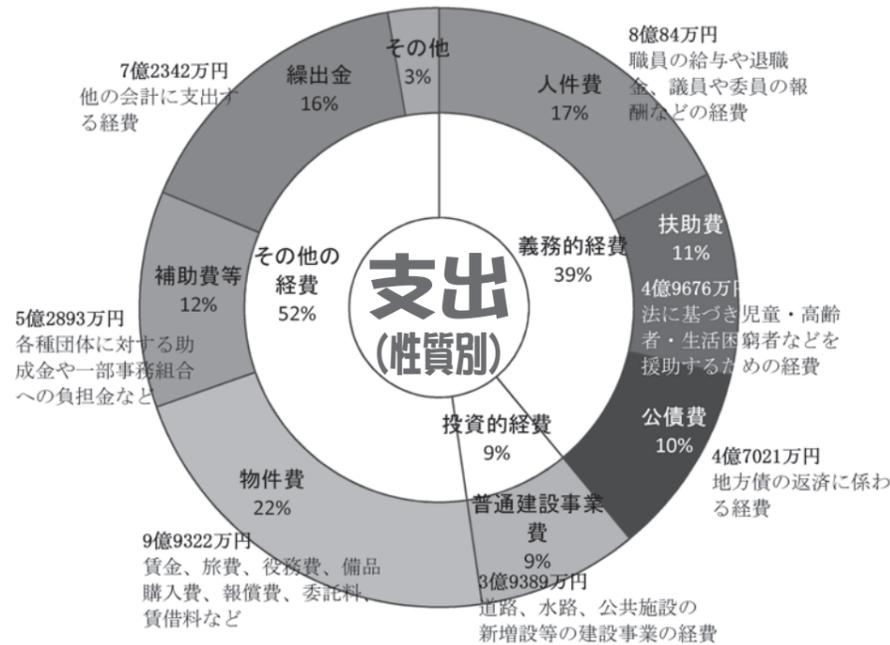
伊勢町地区に雨水調整池の整備
5,080万円

豪雨時に水路の水があふれないように800m³の雨水調整池をつくります。

平成28年度 一般会計歳入歳出予算 45億3,200万円 前年比2.2%増

お金の使い道を「性質別」に見るとは…

人件費などの義務的な支出なのか、公共事業など将来のために投資するための支出なのかなど「経済的性質ごとに分類して表す方法」のことをいいます。それに対して「目的別」は、「町がどんな行政目的のために、どれくらいの支出をするのか」という視点から分類する方法です。



官民医が協働し、新産業の確立と雇用の創出を目指します。

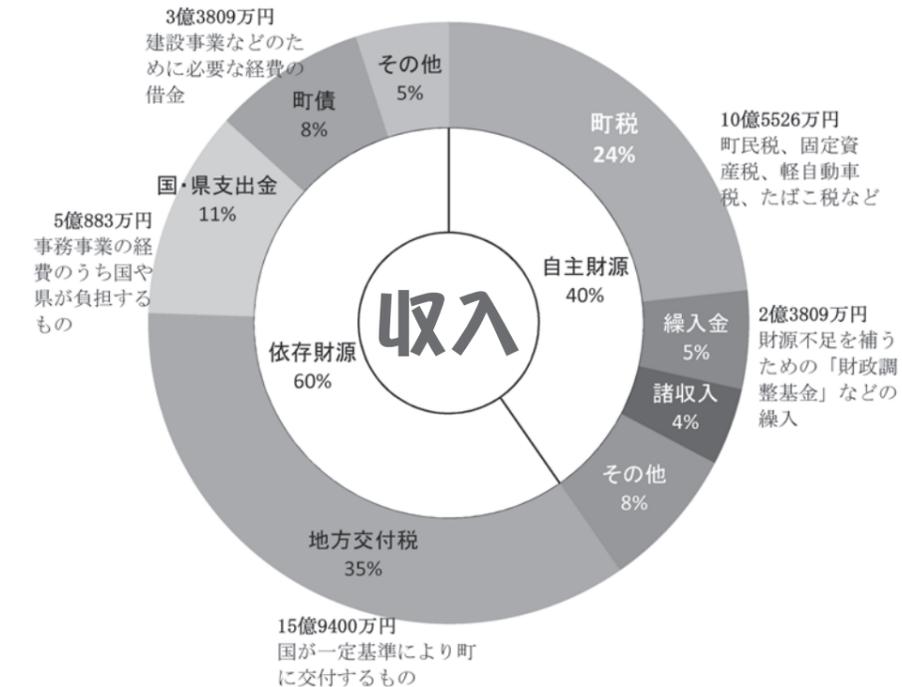


小布施健交ツーリズム事業
51万円



高井鴻山記念館の改修
2,911万円

備然桜の耐震・復元工事を行います。



アメリカのナパバレーの視察研修を行い、観光農園事業を構想・推進するための費用です。



認定こども園 栗ガ丘幼稚園の運営
6,310万円

幼保連携型の認定こども園として幼稚園を運営します。預かり保育等を行うために保育士、管理栄養士の配置などで前年比1,607万円の増額を見込んでいます。

3月会議

3月1~18日

3月会議のあらまし

3月会議が3月1日から18日までの18日間の審議期間で開かれた。第1日目に、条例制定等9件、本年度補正予算12件の審査を常任委員会に、新年度予算8件の審査を予算特別委員会にそれぞれ付託した。引き続き、人事院勧告に伴う議員・特別職・職員の報酬・給与改正の条例3件と関連補正予算6件を審議し、全議案を原案通り可決した。

第2日目に、予算案の説明を理事者等から受け更に議員間で勉強会を開き理解を深めた。第3・4日目に、13議員が一般質問を行い、町民からの要望や行政の課題を取り上げ、町政をたじた。第5日目を以降に、常任委員会、予算特別委員会分科会を開き議案を審査した。最終日に、予算特別委員会の採決後、本会議を開き付託した20議案を原案通り可決して散会した。

予算特別委員会を3月1日~18日にわたり開き、質疑、討論を行い原案の通り可決すべきものと決定。特別委員会における視点論点を報告します。

()内は対前年比

一般会計予算

◆一般会計予算
... 挙手多数

歳入 45億3200万円

①町税 10億5526万円(0.5%)

②地方交付税 15億9400万円(△0.5%)

③国・県支出金 5億883万4千円(2.5%)

④ふるさと応援寄附金 1億2000万円(313.8%)

⑤繰入金 2億3809万円(△23.3%)

⑥財政調整基金の今後の見直しは。

⑦基金から約2億3700万円一般会計に繰り入れることで、28年度末基金残高は1億6000万円となり、大変厳しい、行政改革等進めていく。

⑧町債 3億7420万円(15.9%)

⑨農林水産業費 2億9022万円(14.1%)

⑩農業振興費606万円(46.3%)

⑪振興公社の人員費負担が増えているが、3年前まで、町の課長級職員が常務理事についていた。その後民間から、経営理念や実績のある方に同等程

度の報酬でお願いしてきた。

⑫振興公社のあり方を見直す時期に来ているのではないのか。

⑬利益を上げられずに来たことは十分見直す必要がある。

⑭町が出資している公的支出処分が4年後終わる、これを目指して自立出来るよう努めている。

⑮フラワーセンター管理費3642万円(9.7%)

⑯フラワーセンターの売り上げは、毎年3000万円ほどの売り上げがある。

⑰商工費 1億1702万円(2.7%)

⑱商店街等活性化事業費1364万円(△7.0%)

⑲商工業実態調査アンケートのまとめや分析はどうするのか。

⑳町内の事業主の経営の意向調査を国の実態調査と合わせて行う。分析は商工会と行い、今後の商店街活性化策に生かす。

⑳防災対策費1242万円(296.6%)

㉑防災対策で第1避難所に対する備品の整備は今後どのように進めるのか。

㉒第1避難所には、応急的に必要な水を配布する。基本的に本部に、組み立てトイレ2基、水・カロリーメイト・毛布等備え災害の規模・状況に応じ配布及び貸し出しをする。

㉓住民基本台帳事務費473万円(△48.6%)

㉔本人通知制度の導入をどう考えているのか。

㉕本人通知制度について、近隣の市町村の動向を見て、慎重に検討していく。

㉖民生費 12億4983万円(2.4%)

㉗高齢者在宅支援事業費1067万円(8.6%)

㉘本人通知制度の導入をどう考えているのか。

㉙本人通知制度について、近隣の市町村の動向を見て、慎重に検討していく。

㉚不妊治療費補助金の内容は何か。子育て支援の充実のためには予算が少ないのでは。

㉛1人当たり10万で3人分の予算、3人を超え今後補正で考えた

①国民健康保険特別会計16億7977万円(4.1%)

②国保税医療給付費分の均等割り額28000円を、子育て支援の観点で減免する考えはないか。

③これ以上の軽減は、制度上考えていない。

④下水道事業特別会計4億9119万円(3.3%)

⑤全員挙手
⑥公営企業会計化対応業務委託は、平成31年まで続くのか。
⑦長寿命化計画等31年まで業務委託を進める。

⑧多くの方に移住して頂くために、空き家の情報提供や移住に必要な支援。委託料の内容はどのような改修が必要か等の調査費。

⑨総務費 6億2874万円(0.8%)

⑩官学共同事業費650万円(△6.6%)

⑪官学共同事業SDM学とは何か。慶応SDMの目標は何か

⑫社会の様々な問題をシステム思考、デザイン思考を駆使し、企画マネジメントし問題解決していく学問。町の問題解決に向け取り組みたい。

⑬定住促進事業費1631万円(180.8%)

⑭地域おこし協力隊員3人の役割は何か。

⑮2名の方が定住促進及び地域の活性化で、1名は見事にマラソンに対応していただ

⑯定住促進コーディネーターと空き家等活用調査委託料の内容

⑰多くの方に移住して頂くために、空き家の情報提供や移住に必要な支援。委託料の内容はどのような改修が必要か等の調査費。

⑱現状のタクシー券活用しながら、新しい公共交通システムも検討。

⑲保育園管理費1億6088万円(0.7%)

⑳保育園を民営化している市町村もあるが、町も保育園のあり方を考える時期ではないか。

㉑議論が無かった訳ではない。今後施設の老朽化や財源の確保安定等の観点から検討したい。

㉒不妊治療費補助金30万円(0.0%)

㉓不妊治療費補助金の内容は何か。子育て支援の充実のためには予算が少ないのでは。

㉔1人当たり10万で3人分の予算、3人を超え今後補正で考えた

㉕住民の目線に立ったウォーキングのコース等お知らせし医療と連携した健康づくりのためのウォーキングの仕組みづくりを進めた

㉖健康と交流事業費770万円(13.3%)

㉗パワーウォーキングに限らず町民の多くが参加し易いウォーキングのやり方検討すべきでは。

㉘住民の目線に立ったウォーキングのコース等お知らせし医療と連携した健康づくりのためのウォーキングの仕組みづくりを進めた

㉙国民健康保険特別会計16億7977万円(4.1%)

㉚国保税医療給付費分の均等割り額28000円を、子育て支援の観点で減免する考えはないか。

㉛これ以上の軽減は、制度上考えていない。

㉜下水道事業特別会計4億9119万円(3.3%)

㉝全員挙手
㉞公営企業会計化対応業務委託は、平成31年まで続くのか。
㉟長寿命化計画等31年まで業務委託を進める。

㊱民間が高齢者の移動支援を行いたいと町に提案しているが、高齢者のタクシー券はどうしていくのか。

㊲現状のタクシー券活用しながら、新しい公共交通システムも検討。

㊳保育園管理費1億6088万円(0.7%)

㊴保育園を民営化している市町村もあるが、町も保育園のあり方を考える時期ではないか。

㊵議論が無かった訳ではない。今後施設の老朽化や財源の確保安定等の観点から検討したい。

㊶不妊治療費補助金30万円(0.0%)

㊷不妊治療費補助金の内容は何か。子育て支援の充実のためには予算が少ないのでは。

㊸1人当たり10万で3人分の予算、3人を超え今後補正で考えた

㊹住民の目線に立ったウォーキングのコース等お知らせし医療と連携した健康づくりのためのウォーキングの仕組みづくりを進めた

㊺健康と交流事業費770万円(13.3%)

㊻パワーウォーキングに限らず町民の多くが参加し易いウォーキングのやり方検討すべきでは。

㊼住民の目線に立ったウォーキングのコース等お知らせし医療と連携した健康づくりのためのウォーキングの仕組みづくりを進めた

㊽国民健康保険特別会計16億7977万円(4.1%)

㊾国保税医療給付費分の均等割り額28000円を、子育て支援の観点で減免する考えはないか。

平成28年度一般会計歳出予算



予算特別委員会における

視点・論点

農林水産業費 2億9022万円(14.1%)
⑩農業振興費606万円(46.3%)
⑪振興公社の人員費負担が増えているが、3年前まで、町の課長級職員が常務理事についていた。その後民間から、経営理念や実績のある方に同等程

度の報酬でお願いしてきた。
⑫振興公社のあり方を見直す時期に来ているのではないのか。
⑬利益を上げられずに来たことは十分見直す必要がある。

⑭町が出資している公的支出処分が4年後終わる、これを目指して自立出来るよう努めている。
⑮フラワーセンター管理費3642万円(9.7%)
⑯フラワーセンターの売り上げは、毎年3000万円ほどの売り上げがある。

⑰商工費 1億1702万円(2.7%)
⑱商店街等活性化事業費1364万円(△7.0%)
⑲商工業実態調査アンケートのまとめや分析はどうするのか。
⑳町内の事業主の経営の意向調査を国の実態調査と合わせて行う。分析は商工会と行い、今後の商店街活性化策に生かす。

㉑防災対策費1242万円(296.6%)
㉒防災対策で第1避難所に対する備品の整備は今後どのように進めるのか。
㉓第1避難所には、応急的に必要な水を配布する。基本的に本部に、組み立てトイレ2基、水・カロリーメイト・毛布等備え災害の規模・状況に応じ配布及び貸し出しをする。

㉔住民基本台帳事務費473万円(△48.6%)
㉕本人通知制度の導入をどう考えているのか。
㉖本人通知制度について、近隣の市町村の動向を見て、慎重に検討していく。

㉗民生費 12億4983万円(2.4%)
㉘高齢者在宅支援事業費1067万円(8.6%)
㉙本人通知制度の導入をどう考えているのか。
㉚本人通知制度について、近隣の市町村の動向を見て、慎重に検討していく。

㉛不妊治療費補助金30万円(0.0%)
㉜不妊治療費補助金の内容は何か。子育て支援の充実のためには予算が少ないのでは。

㉝1人当たり10万で3人分の予算、3人を超え今後補正で考えた

㉞住民の目線に立ったウォーキングのコース等お知らせし医療と連携した健康づくりのためのウォーキングの仕組みづくりを進めた

㉟健康と交流事業費770万円(13.3%)

㊱パワーウォーキングに限らず町民の多くが参加し易いウォーキングのやり方検討すべきでは。

㊲住民の目線に立ったウォーキングのコース等お知らせし医療と連携した健康づくりのためのウォーキングの仕組みづくりを進めた

㊳国民健康保険特別会計16億7977万円(4.1%)

㊴国保税医療給付費分の均等割り額28000円を、子育て支援の観点で減免する考えはないか。

㊵これ以上の軽減は、制度上考えていない。

㊶下水道事業特別会計4億9119万円(3.3%)

㊷全員挙手
㊸公営企業会計化対応業務委託は、平成31年まで続くのか。
㊹長寿命化計画等31年まで業務委託を進める。

平成27年度 補正予算の審議

地方創生加速化交付金 6500万円!

一般会計、特別会計の6議案について審議し、原案のとおり可決した。補正の主なものは年度末の実態に合わせた人件費、共済負担金。地方加速化交付金情報セキュリティ強化にかかわるもの、ふるさと納税にかかわるもの、地方創生加速化交付金にかかわるもの、通知カード・個人番号カードにかかわるもの等々。

- 幼保小中一貫教育事業費・187万円
- 特別教室にタブレット7
- 障害福祉事業費・1152万円
- 障害者福祉サービスの
- 実績に基づく補正

- 情報政策推進事業費・1761万円
- 自治体の扱う情報のセキュリティ強化に関するもの
- 小布施ふるさと応援基金積立金・200万円
- ふるさと納税をいただいた一部を基金として積み立てるもの
- 地方創生加速化交付金事業(市町村連携5事業・町単独事業2事業)・6510万円
- 地方版総合戦略に位置付けられた先駆性のあり取り組みを円滑に実行できるように、10%国庫負担で行うもの
- 障害福祉事業

主な補正事業の内容

- 中学校環境整備事業費・財源内訳補正
- 中学校の環境整備にふると応援寄付金800万円を活用して行うもの
- 台の購入を行うもの
- 自治体情報セキュリティ対策は今までもやってきたが、ここでやる背景は何か。
- マイナンバーを直接行う業務と利用して行う業務を分離せよという国からの指示があった。
- 分離するためのパソコンの購入費、セキュリティの強化委託料、工事費等を計上。
- 地方創生加速化事業の町単独事業の説明をして欲しい。
- 小布施町として文化と交流、健康を軸とした新しい観光を組み立てる。
- 例えば外国から来る方を小布施町の魅力を紹介



ふるさと応援基金を活用して購入

常任委員会での論点

- 低所得者の概念は住民税が課税されていない方、課税されていない方の扶養親族等。
- 27年度の臨時福祉給付金対象者のうち28年度中に65歳になる方を対象。1人あたり3万円1400人。
- 自治体情報セキュリティ対策は今までもやってきたが、ここでやる背景は何か。
- マイナンバーを直接行う業務と利用して行う業務を分離せよという国からの指示があった。
- 分離するためのパソコンの購入費、セキュリティの強化委託料、工事費等を計上。
- 地方創生加速化事業の町単独事業の説明をして欲しい。
- 小布施町として文化と交流、健康を軸とした新しい観光を組み立てる。
- 例えば外国から来る方を小布施町の魅力を紹介

- しながら仕事を増やす。
- 映像クリエーターを招くことで仕事を増やす。補助金の性質上、先駆性・新規性に軸を置き事業を組み立てている。
- ふるさと応援基金の活用方法はどうか。
- 一般財源の負担を減らすために、ふるさと応援基金を活用させていただきます。

平成28年3月会議		賛	賛成	反対	反対	議長は議決に参加しない									
賛否の分かれた議案		中村雅代	福島浩洋	富岡信男	小西和実	川上健一	山岸裕始	小林茂	小林一広	小淵晃	渡辺建次	関谷明生	関悦子	小林正子	大島孝司
社文	小布施町町立公民館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一
予算	平成27年度小布施町一般会計補正予算(第9号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	一
	平成28年度小布施町一般会計予算について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	一
	平成28年度小布施町国民健康保険特別会計予算について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	一
	平成28年度小布施町後期高齢者医療特別会計予算について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	一
平成28年度小布施町介護保険特別会計予算について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	一	

区	分	平成28年度予算	平成27年度予算	増減率	委員会	本会議
一般会計		45億3200万円	44億3300万円	2.2%	全員賛成	賛成多数
特別会計	国民健康保険	16億7977万円	16億1349万円	4.1%	全員賛成	賛成多数
	後期高齢者医療	1億1860万円	1億2043万円	-1.5%	全員賛成	賛成多数
	介護保険	9億8624万円	9億5869万円	2.9%	全員賛成	賛成多数
	下水道事業	4億9119万円	4億7555万円	3.3%	全員賛成	全員賛成
	農業集落排水事業	1億7174万円	1億8526万円	-7.3%	全員賛成	全員賛成
	水道事業(収益的収支) (資本的収支)	2億0978万円 1億0158万円	2億0808万円 1億1056万円	0.8% -8.1%	全員賛成	全員賛成

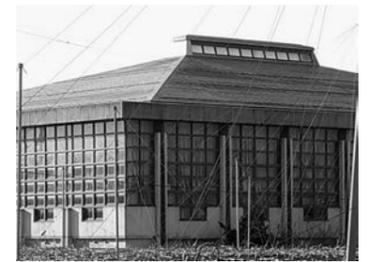
※1 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計は100万円以下のため省略しました。
※2 1万円以下を切り捨てのため、合計が合わない場合があります。

予算編成前に「要望書」提出 その結果は

去る10月28日付で11項目にわたり予算要望を行った。町からの対応の一部を紹介しします。

1. 老朽化した施設の改善等は優先順位をつけて進められたい。
【回答】施設の改善については、各課の要望をまとめ、優先順位付けをして新年度予算に組み込みました。その他の改善・改修箇所は、平成28年度中に年次計画を立てていく予定。

2. 交通安全対策を早急に進められたい。
【回答】以前より指摘をいただき



総合体育館の屋根もびびり雨漏りがしている

3. 都住駅周辺整備について、歴史的な文化財の掘り起こしを含め、周辺自治会の意見聴取をしながら進められたい。
【回答】都住駅周辺の整備は、駅の近辺に貴重な遺跡や文化財が点在していることから全体的な構想が必要と考える。

4. 低所得者の概念は住民税が課税されていない方、課税されていない方の扶養親族等。

5. 27年度の臨時福祉給付金対象者のうち28年度中に65歳になる方を対象。1人あたり3万円1400人。

6. 自治体情報セキュリティ対策は今までもやってきたが、ここでやる背景は何か。

7. マイナンバーを直接行う業務と利用して行う業務を分離せよという国からの指示があった。

8. 分離するためのパソコンの購入費、セキュリティの強化委託料、工事費等を計上。

9. 地方創生加速化事業の町単独事業の説明をして欲しい。

10. 小布施町として文化と交流、健康を軸とした新しい観光を組み立てる。

11. 例えば外国から来る方を小布施町の魅力を紹介



子どもが安全に通学できる配慮を

6. 行楽期の交通渋滞対策について、町周辺部に駐車場を確保しシャトルバスの運行等を検討されたい。
【回答】28年度において、臨時駐車場確保と町内までのシャトル運行を予定している。

9. 医療費抑制のため



昨年は混雑時には町中駐車場は常に満車

① 町民健康診査の受診率を上げるための施策を講じられたい。

② 生活習慣病重症化予防のため、食生活等の指導の拡充をされた。

【回答】次の施策を講じます。
(1) 保健福祉委員の地区学習会で町の取り組みについて説明し、検診等の受診率向上につなげる。
(2) 各自治会や各種団体へ健康づくりをテーマに出前講座を開催していく。
(3) 特定健診検査結果の提出代行業務をかりつけ医に行っていたら健康教室を開催。
(4) 地域でウォーキング健康教室を開催。
(5) 検診結果から特にハイリスク者への訪問に力を入れる。
(6) 健康ポイント制度等の導入検討。

平成28年3月会議 こんな質問をしました。

一般質問一覧

3月3日(木)～4日(金)実施

ページ	議員氏名	質問事項	ページ	議員氏名	質問事項
P10	中村 雅代	①子育て支援の充実について	P19	渡辺 建次	①「空家特措法」施行後の「空き家条例」の取扱いは
P11	小淵 晃	①子どもの貧困対策として「学習支援」と「子ども食堂」を			②小中学校教科書の採択(選定)基準は
P12	関 悦子	①科学的な情報を子育てに役立てて			③訪町外国人へのおもてなしは
		②町民運動会のさらなる発展を			④予防歯科の提唱による生活習慣病対策は
P13	小林 一広	①403号の進捗状況と当面の課題は			⑤少子化対策としての結婚支援は
P14	川上 健一	①雁田沖工場団地の今後の活用方法は	P20	関谷 明生	①「田舎暮らしの本」に掲載の「住みたい田舎ランキング」への参加は
		②伊勢町・中扇地区集中豪雨時洪水対策について			②ムクドリ被害の推移とその対応・対策は
		③小布施町の農業の更なる魅力づくりについて	P21	小林 茂	①国保医療費抑制対応の課題と対応策は
P15	小西 和実	①再度、駅前の景観整備の検討を	P22	小林 正子	①保健師の訪問活動の充実を
		②千年樹の里の開発計画について			②子ども医療費窓口無料を求める
P16	山岸 裕始	①国・県の補助金をより有効的に			③介護保険制度の今後について
P17	福島 浩洋	①人事評価制度の取り組みは			
P18	富岡 信男	①ふるさと納税への対応は			

陳情 建設業者支援の町へ意見書提出

1月会議
1月12日

建設業者からの陳情を審査
継続審査とした町内建設業者への支援を求める陳情について、政策立案委員会において、陳情内容の勉強を行い、そのうえで陳情内容の一部を採択するものとなりました。本会議でも全員賛成で入札指名業者の町内業者への優先配慮と最低制限価格の引き上げについて検討を求める意見書を町長に提出しました。

税金例の一部改正
マイナンバー法施行に伴い、税関係の書類記載事項の一部を変更するもので、住民生活に直接影響はありません。国の法改正に追従するもので、専決処分を全員賛成で承認しました。

1月12日、小布施町税条例の一部を改正する専決処分の承認と政策立案委員会の継続案件に対する審査を行いました。

補正予算 土地改良区ポンプ修理補助金

土地改良区の水中ポンプ修理費(ケーシング管)負担金600万円の内、20%の補助金138万円の補正であるが、日滝原土地改良区の負担金も20%か。
A 日滝原土地改良区、小布施町土地改良区ともに小布施町の補助割合は20%である。
B 改修工事の工期はどうなるのか。今年の耕作に間に合うのか。
C 今回は、旧井戸ポンプのケーシング管修理のみで苗代作業に支障はない。ポンプ本体は次年度で検討する。

土地改良区の水中ポンプ修理費(ケーシング管)負担金600万円の内、20%の補助金138万円の補正であるが、日滝原土地改良区の負担金も20%か。

小布施町土地改良区
東部第一水源改修事業
補助金138万円

一般会計補正
総務産業常任委員会

1月
第2回会議
1月27日



通信費の増額補正は、発送するものが増

総務管理費
通信運搬費39万円

えたのか。発送先が増えたのか。
A パンプ等の発送増、年初計画外のアンケート実施によるものである。

1月27日、一般会計補正予算の審査を総務産業常任委員会に付託し、本会議において全員賛成で可決しました。

小布施町議会 28自治会へお伺いします。

12月22日横町公会堂で第3回議会報告会&意見交換会を行いました。
意見交換会で戴いた主な意見
○町の中心部の渋滞緩和について町はどのようなか
○駐車場の案内板の設置を
○町民運動会の種目に60歳以上もできる内容を取り入れてほしい
○栗の木の歩道は歩きづらい
○その他一般質問を傍聴しての質問もありました。
議員定数・議会に対する意見
○政務活動費は

横町自治会の皆さんと

意見交換会を行いました。

ロだが報酬を含め検討してほしい
○夜間、週末に議会が開けるようにし、議員の成り手不足の解消を
○通年議会はどうか
18人の皆さんに出席いただき感謝申し上げます。
身近な議会の実現を目指し更に充実した会に取り組んでいきます。





中村雅代議員

子育て支援の充実について…認定子ども園は

中島教育長 就学前の児童の教育・保育環境の整備や充実に努めてまいります

Q

今年度4月より栗ガ丘幼稚園が認定こども園としてスタートするが、運営について伺いたい。①入所の状況に対して職員配置はどうか。②認定及び利用時間の違いにどう対応するのか。③利用者負担額の不均衡は生じないのか。④保護者会の

運営はどのようにするのか。⑤保育所の老朽化に伴う施設整備は。

A

①給食室の増築、3歳未満児保育室の改築整備を行い、5歳児1級、4歳児2級、3歳児2級、2歳児5名・1歳児5名に見合う保育教諭、管理栄養士、調理員を配置します。②教育・保育を希望するすべての子どもの発達を保障すると共に、保護者の子育て支援を図ります。③給食費や延長保育料の実費負担額を設定し公平な負担水準とします。④保護者が役員を受けやすいよう行事や会議の簡素化を図り改善に努めます。⑤遊戯室が狭く苦慮しているが、内容を工夫しながら対応しています。床など修繕箇所は安全性を確保し、財政事情を考慮しながら実施します。

Q

特別支援を要する子どもさんへの手立ての基本は、早期発見後の早期の発達支援、ライフステージに沿った施策が必要だ。専門スタッフと連携し、切れ目のないきめ細やかな支援の継続の拡充はどうか。

A

適切な個別指導を重視し、持てる力を可能な限り伸ばし、生きる力を身に付け、自立を目指します。新たに療育の要素を取り入れ、臨床発達心理士や療育コーディネーター等による発達相談事業を実施し、個々の特性に配慮します。



未満児用トイレ…オープンだけどゾウさんの仕切りが

Q

今年度、総合教育会議が2回開催されたがどのような議論がされたのか。幼保小中一貫教育の推進体制また、コミュニティスクールの位置づけは。

A

昨年4月に教育委員会制度の改革が行われ、責任体制の明確化や迅速な危機管理の構築が急務です。学校・家庭・地域が連携した教育の仕組みづくりを更に進め、子どもたちの育ちを見通した特色ある教育を進めていきます。コミュニティスクールは運営委員会を設置し地域の方々豊富な経験や学びを生かします。



きめ細やかな個別指導を



小淵 晃議員

子供の貧困対策とし、「学習支援」と「子ども食堂」を町として独自に学習支援をまいります

池田教育次長

Q

わが国の将来を担ってくれるのは子供たちです。その子供たちが自分の夢と希望に向かって、挑戦し自らの未来を切り開いて行けるような環境を作ってやるのが私たち大人の責任です。

しかし、生まれた家庭の経済的な環境によって、学びたくとも文具代や高校に行くお金がないので学べない、食費を切詰めているため栄養源を給食に求め十分な食事のできない等の生活をしている子供たちのことを「子どもの貧困」

と云い、厚生労働省の調査では平成24年の「子どもの貧困率」は、16%です。17歳以下の子供のうち6人に1人が該当しています。小布施町の17歳以下の子供は1781人です。貧困率で計算すると290人になります。

1、小布施町の「子どもの貧困家庭」の実情の把握は。

2、平成28年度の国・県の予算から想定しどんな事業が推進できるか。

3、小布施町として「学習支援」と「子ども食堂」を、教育関係者・民生委員・町づくり委員会・有志者等のご協力を頂き実施できないか。

A

学習支援として中学1・2年生を対象に「学力向上支援教室」(参加費無料)を毎月曜日の放課後実施し、中学3年生の希望者には進学に向けて「学習支援セミナー」(参加費・月2000円)で学びの場の提供を行っています。

また、就学援助費の給付として学用品、通学用品、修学旅行費、給食費などに加えて大学進学のため

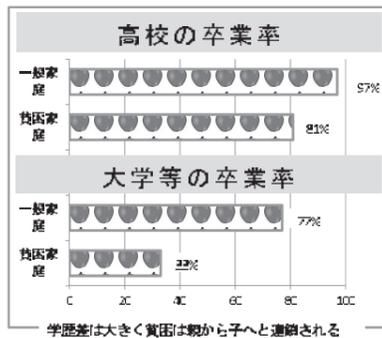


給食は楽しいひと時

「子ども食堂」の開設を八代健康福祉課長 状況把握し検討します

生活困窮者自立支援法に基づき就労者生活支援センターが設置されている。

ここではフードバンク信州と連携して、善意で食料を集め、センターにあらかじめ登録した方に食料を提供している。こうした制度を活用するとともに、子供の貧困家庭の状況を積極的に把握し、必要があれば「子ども食堂」について検討します。



学歴差は大きく貧困は親から子へと連鎖される

平成26年1月「子どもの貧困対策推進法」が施行され、国・県での取り組みが小規模ながら始まりました。



関 悦子議員

科学的な情報を子育てに役立てて

八代健康福祉課長

内容を理解し、参考にしていく

Q 「不安で孤独な育児」の理由を科学的に分析したテレビ番組、「最新科学で迫るニッポンの子育て」が放映された。内容は、「出産後は、あるホルモン（エストロゲン等）が減少することで神経細胞の働きが変化し、母親は不安や孤独を感じやすくなる」、「子どもの夜泣きやイヤイヤは、脳の発達が未発達なことによるもので、母親の育て方が間違っているからではない」、「産後間もない離婚や、夫へのイライラは、ホルモン分泌によるものである」などが、大変分かりやすく解説されていた。最近、「育児放棄」「幼児虐待」など悲惨な事件を頻繁に耳にするが、子育てに関わるすべての人がこれらの科学的な知識を得た上で、子育てに取り組むことが必要だと痛感した。

り組むことが必要だと痛感した。

(1) 両親学級などで、母親から子育ての孤立感、産後うつ、産後クライシスなどの相談はあるか。

(2) 子育てに関わる職員や関係者は、これら、科学的知識を理解した上で、子育て支援、指導を行ってほしいが。

(3) 母性を育てるには小さな時から赤ちゃんと接したり、触れ合う体験が必要と言われているが、学校教育や体験学習での取り組み状況は。

A (1) 乳幼児相談、子育て教室、赤ちゃん訪問などで、子育ての孤立感などの相談を受けている。産後うつについては、質問票で早期発見と支援につなげている。

(2) 番組の内容を理解し、科学的な情報を参考にしている。

的な情報を参考にしている。

(3) 家庭科授業での学習、幼稚園での交流体験学習、職場体験学習などを通じて、母性を育む学習を進めている。



みんなで楽しめる運動会をいつまでも。

町民運動会のさらなる発展を 池田教育次長 今後も工夫を尽くす

Q 町民運動会は、町民総参加による親睦と連帯意識

の高揚・体力の向上を目的に、町の一大事業として、盛大に開催されてきている。古くから大切にされてきた、歴史ある行事である。毎年、より良いものにするため創意工夫を重ねている。昨年は「小布施第二町民」の参加があり、素晴らしい企画であった。しかし、運動会に対する、要望、意見も聞かれる。「チーム編成ができない」「出場者がいない」「競技種目がマンネリ」「高齢者が参加できる種目が少ない」など。

(1) 毎年の意見、要望はどこで、どのように検討されるのか。

(2) 時代の変遷に応じて「将来の運動会の在り方」など、ゼロベースで検討する考えは。

A (1) 意見、要望は、体育協会、スポーツ推進委員からなる種目検討会議で検討し、その後、運動会企画委員会議で決定する。

(2) 今後も、多くの意見、提言を聞きながら、毎年、話し合いを持ち、工夫を尽くして開催していく。



国道403号整備イメージ図



小林一広議員

403号の進捗状況と当面の課題

市村町長

平成28年度は用地測量と物件調査

Q 国道403号の提言書が「国道403号整備デザイン会議」を経て、2012年に県に提出されました。道路は物流、車での移動の意味合いが強い、しかし、道には人にやさしい、人との交流を作る温かさがあります。小布施町にとっての理想

の403号整備の進捗状況をお聞きます。まず、県の予算が付きましたがいくらか付いたのか。今後、どの様に進めてゆくのか。

A 県の平成28年度当初予算に新規事業予算として発表された。予算付けされたことに感謝している。27年度予算は26年度からの繰越事業で測量・設計業務で800万円、28年度は用地測量と物件調査で8000万円です。

その後、用地の確保を進め、ある程度の用地が確保できたところで工事に着手の予定。

Q 道幅は変えないことが原則と思うが、県の説明では両サイドの排水路が50センチ道路として活用され、実質1メートル幅員が広がるが許容範囲か。

また、電線地中化は歩道幅が2

メートル必要だとのことだが用地交渉で支障、計画変更は必要ないか。

A 事業の内容について、町方には認識の違いがある。国道403号の整備は、今後の小布施町の有り様を左右する重要な事業であり、用地測量と物件調査は、町の提言に添ったものであることが必要であり、水路の構造や電線類の地中化の方法などについて、県との協議が必要と考える。

Q ④アメリカンドラッグが403号沿いに出店するが整備計画に支障はないのか。景観上も問題はないか。

A 建設現場は区画整理の際に都市計画道路幅員の16メートル幅で整備しており支障は



アメリカンドラッグ建設風景

ないと考える。

景観上の問題については、町よりお願いし、屋根の形状を和風の勾配屋根に、外壁も土色に変更してもらい、周囲に植栽を設けるなど景観への配慮に一定の協力を頂いている。

※産後クライシスとは、NHKの造語で夫婦の愛情が急速に冷えこむ状況



川上健一議員

雁田沖工場団地の今後の活用方法は

畔上建設水道課長 早期実現を図っていく

Q 平成22年から更地の状態で利用されずに来た雁田沖工場団地の利用が、土地改良補助事業完了から8年が経過したことにより、ようやく可能となると聞き、ほっとする思いと同時に、活用するには遅きに失し残念でなりません。

A 町にとって工場用地は極めて少なく、貴重な産業資源と考えます。長野県で一番小さな町の、小さな工場用地。工場が誘致されれば、雇用も生まれ、工場稼働となればそこから物流が広がり、経済効果は大きなものとなると考えます。町民の多くの方が期待を寄せてきたものと思います。

(1) 工場用地として具体的な活用内容が決定されているのか。

(2) 工場用地以外の活用方法は可能なのか。

に声掛けをしている状況、また町内の数社からも計画地へ出たいとの話も聞いている。今後、具体的な調整をし、早期実現を図っていく。

(2) したがって、工場団地以外の活用については考えていない。

伊勢町・中扇地区集中豪雨時洪水対策について

畔上建設水道課長

調整池4月に発注予定

先ごろ町建設水道課から、伊勢町陸橋下の三角地帯に接する歩道整備工事のお知らせがありました。いよいよ伊勢町の排水路氾濫箇所の対策工事が始まるものと期待しております。

Q

先ごろ町建設水道課から、伊勢町陸橋下の三角地帯に接する歩道整備工事のお知らせがありました。いよいよ伊勢町の排水路氾濫箇所の対策工事が始まるものと期待しております。

(1) 歩道整備及び2棟の解体工事終了後、洪水対策に向けた工事が行われるものと思われませんが、工事の時期、規模、内容は。

(2) 規模の大きな浸透枳ある



解体工事が進む伊勢町地区陸橋下

いは調整池を設置した場合、隣接する国道403号(陸橋)に与える影響は無いのか。

(3) 今後他の洪水による被害地区への対策の進め方は。

A (1) 調整池本体の工事は4月に入って発注予定。構造は護岸ブロック積み構造で、深さ約5m、池の容量は800トンで、工期は3ヶ月を見込んでいます。

(2) 影響については、道路管理者の須坂建設事務所へ設計協議を行い問題ないと回答をいただいている。

(3) その他の被害地区については地元自治会等と協議をし、水路改修を行うとともに、雨水浸透枳についても協力をいただきながら設置を進めていく。

町農業の更なる魅力づくりに向けて

市村町長

町にしかない商品開発が急務

Q

T P P 大筋合意後、農業は非常に厳しい状況に追い込まれています。低価格で輸入される農産物に負けない農産物を生産することはもちろんですが、町の農産物の魅力や良さをもっと知っていただく機会や触れることのできる空間があればと考えます。

(1) 魅力や良さを発信できる拠点・空間はできないか。

(2) 農家レストランはできないか。

A (1) 新たな拠点整備は前回回答した通りで、今後、6次産業センターを活用し、町にしかない商品開発が急務と捉える。

(2) レストランも、花屋等有効活用し、魅力発信につなげたい。

再度、駅前前の景観整備の検討を

畔上建設水道課長

指導とお願いを行い対応していく



小西和実議員

Q 駅前通りに作られる建物などが小布施町の玄関口である小布施駅前前の景観を著しく損ねていると12月に質問を行ったが、一部改善されたのみで解決していない。

この件について対応を速やかに行うべきであると考え。行政としてしっかりと指導をして、小布施町らしい町並みづくりへの協力を強く要請すべきであり、早急に対応を必要としている。

また、道路に雪が山盛りになっていることについて、住民の方から安全と景観の両面から苦情を頂いている。これらのことについて、行政として現状をどのように考え、どう対応していくのか。

A 駅前の3階建ての建物について、屋外機を壁面と同じ色に塗って頂くこととなり、

千年樹の里の開発計画について

久保田副町長

計画がまとまり次第、町民の皆さんに説明させて頂く

Q

地域密着型介護サービス施設とグループホーム2ユニットと訪問看護ステーションを設置した新しい施設が、来年度には千年樹の里、新生病院に隣接して開設予定でした。



小布施の出入り口である駅前前の景観が張り紙やポールにより損なわれている

しかし、設計が遅れてしまい、このままでは開設が平成30年度に遅れてしまうおそれがあると懸念しています。

現在は国も介護分野に力を入れ、強力な支援を行っていくが、この計画が遅れてしまうことによっては他の介護事業にも非常に悪影響を与えるのではないかと懸念されます。

①なぜこのような事態になっているのか、詳細に事情と現在の状況を説明してください。
②計画を白紙撤回する、早急に

開設の用途を立てるなど、速やかに対応をすべきである。具体的に現状の解決策を示してください。

③「遅れてしまいました」で済むことではない。今回の遅延の責任の所在を明らかにしてください。

A 平成26年11月の議会全員協議会で議会に説明した際は、平成28年度完成とお話した経過があるが、その後財源の確保、建設用地の確保など検討事項があり、さらに建設案について町民の皆さんに説明しご理解を頂く必要があるとの判断から第6期の計画期間内である平成29年度中に建設する予定である。素案がまとまり次第町内福祉施設関連の皆さんや議会に説明し、平成28年度の町政懇談会で話をしていきたい。



町が建設する介護施設の予定地の現況



山岸裕始議員

国・県の補助金をより有効的に

田中総務課長 今後とも情報収集に力を入れていきたい

Q 近年全国的に暮らしが豊かになり、価値観の多様化が進んでいます。

国民が行政に望むことも多岐にわたり、行政に望むものを捉えることが非常に困難となってきました。

しかしそういった状況の中でも、小布施町に住みたいと感じていただくためには、町民のニーズを的確にとらえ施策に反映していくことが必要です。

限られた財源の中、町民ニーズを少しでも多く反映させるためには国や県の補助金の活用が不可欠と考え質問させていただきました。もちろん国・県の財源だからと必要のない事業を行うのには反対ですが、小布施町が総合計画に沿って行う事業、町民からの要望が多い事業で申請すれば獲得でき

る補助金は積極的に活用すべきと考えます。

また小布施町の町民も国税・県税を支払っています。他の市町村よりも著しく国・県の補助金の活用状況が悪いと支払った税金と比較して十分なサービスを受けていないということになります。

小布施町の職員は基礎自治体の中でも、住民に最も身近な行政として町民ニーズに寄り添い柔軟な対応をするということでは特別に優れています。

その反面、高度化する行政事務を処理する。また複雑化している国の事業を把握して必要な補助金を活用していくという面ではまだまだ努力の必要があると感じます。

横断的に組織を把握して小布施町で行う事業に必要な補助金等の紹介や申請にあたる事務の取りまとめをできる人材の活用、例えば飯綱町では参与として総務省から職員を招いています。小布施町でも以前県の職員と人事交流等ありました。そういった人材の活用、または組織の編成が必要と考えますが町の方針は。

A 平成28年度の一般会計予算案では、国県補助金は合計5億883万4千円で全体の11・2%を占めている。補助金活用で課題と考えるのは、地方創生加速化交付金事業のように、制度の概要を短時間でお知らせすることが多いなど、時間的に十分な余裕がないといった場合。

県の「元気づくり支援金」事業でも、十分に支援金を活かしきれない面がある。

町では、企画政策課を中心に各担当課が連携し、財政ともども補助金の情報収集に力を入れてまいりたい。現在のところ、新たな組織の編成は考えていない。

一方、慶応SDMのお力をお借りしている面もある。慶応SDMや多くの大学の皆さんの中には、新しい補助事業の情報をいち早くお持ちの方もおいでになり小布施町が連携している大学等から情報提供いただくこともある。

今後とも、国などの補助金を活用していくことが大切。



福島浩洋議員

人事評価制度の取り組みと意気込みは

田中総務課長 更なる住民サービスの向上を目指します

Q 導入にあたり業務委託者(社)は、また委託内容は、(株)セールスユニバーシティへ委託ガイドラインとなる評価制度実施規定や実施要領(運用の手引き)評価シートおよび研修会等を委託また、より良い制度に成るために27年度を含め3年ほどを見込んでいます。

A 評価者は被評価者に対して全責任をもって評価する事を課している。そのためにはお互いの信頼関係を築く事が大切だ

と考えます。因みに主幹・主査や主事の職員は係長が評価者、また課長は係長を、副町長は課長を評価する事となります。

Q 被評価者の職員に対してどの様な目標値を設定し1年間日頃の業務と併せて進めていくか、そのための説明会、勉強会や講習会は構築されているか。

A 28年度はまず一般職員から実施し臨時職員については導入を視野に検討します。まずは、一つのテーブルで話し合いを行ない達成する数値が具体的に定まるもの。窓口でトラブルを起こさないものとするものか。

開催、より良いものとするために試行中です。

Q 制度導入に当たり初年度の考課はどの程度の期待と成果を考えているか。

A あらためて組織として何を指しているかを確認し合いそれに向かって行く組織の姿勢を作り、より良い更なる住民サービスの向上や対人コミュニケーションを築いてまいります。また28年度の重点施策6項目の、

- (1) 町民の皆さんの健康づくりの推進。
- (2) お子さんを生み育てやすい

人事評価のねらい

背景

- 地方分権の一層の進展により地方公共団体の役割が増大
- 住民ニーズの高度化・多様化
- 厳しい財政状況や集中改革プランなどにより、職員数は減少

個々の職員に困難な課題を解決する能力と高い業績を上げることが従来以上に求められている。

能力・実績に基づく人事管理の徹底

⇒ より高い能力を持った公務員の育成

組織全体の士気高揚、公務能率の向上

⇒ 住民サービス向上の土台をつくる

- 子育て支援。
- (3) 多様な学び場の充実。
- (4) 果物のブランド化と農業を軸とした産業の充実。
- (5) Iターン/Uターンでの定住を促進。
- (6) 安心・安全なまちづくりの推進。以上においても各部署で慎重にすすめてまいります。



月下美人

長期的な計画を立てる事が目標と成るもの等、様々な目標を設けています。現在13回ほどの研修会や勉強会を

※ 国家公務員の人事評価制度は、平成19年の国家公務員法改正により導入、平成21年から実施。
※ 地方公務員については、助言等により人事評価制度の導入を促進。



富岡信男議員

ふるさと納税返礼品競争の見直しを

西原企画政策課長

目的税化により有効活用したい

Q ふるさと納税制度は、多くの人が地方で生まれ、その自治体から医療や教育等様々なサービスを受けて育ち、やがて進学や就職を機に生活の場を都会に移し、そこで納税を行っている結果、都会の自治体の税収は増えませんが、生まれ育った故郷の自治体には税収が入りません。そこで今は都会に住んでいても、自分を育ててくれた故郷に、自分の意志でいくらかでも納税できる制度が

あってもいいのではないかと、そんな問題提起から始まり、数多くの議論や検討を経て生まれた制度がふるさと納税制度です。

ふるさと納税制度は、地方で生まれ育った人や都市部に住む人が、都市部にいながら故郷に納税することで地方を応援する制度ですが、ふるさと納税を獲得するため返礼品競争が発生してきていて、現状のまま推移すると、地方にとつて活性化どころか、産業の

衰退、財政破たんも含めて深刻な事態になることも予想されます。

小布施町のふるさと納税の12月末までの実績を見ますと、寄付件数、6345件、寄付金額9983万円となっていて、寄付返礼にかかる費用として4137万円を見込んでいます。

またふるさと納税を国全体で見ますと、平成21年度から26年度の実績で、寄付された人が108万人、寄付金額が1126億円、税額控除額が373億円となっています。この6年間で373億円の税金がふるさと産品という形で納税者に還元されていることになりました。

小布施町では、教育・子育て支援、産業の支援等独自の事業に取り組んでいて、ふるさと納税の基理念にのっとり、品物でなく町が取り組んでいる政策を全国へアピールすることにより小布施町の評価は一段と高まり、事業に賛同した寄付が増えると思います。他市町村と一線を画した小布施町の

ふるさと納税の在り方を検討する時期に来ているかと思いますが考えを聞かせてください。

A ふるさと納税関連事業の執行につきましては、小布施町ならではの仕組みや優良な農産物、商工業品を感謝特典にすることにより、歳入の財源を確保しつつ、産業振興、地域振興が図れるのであればと、多くの町民の皆さんのご意見をお聞きし、平成27年4月から方針を転換し積極的に実施してきています。制度の在り方を検討することにつきましては、ご寄付をいただくことは大変ありがたいことであり、国がふるさと納税の制度を継続する中で、引き続き実施してまいります。

ふるさと納税は使途を指定できることになっていきますので、ふるさと納税を目的税化するという考えにより、指定した事業の大切な財源として使わせていただきたいと思います。

制度を有効に活用しながらも、ふるさと納税制度だけを当てにするのではなく、特産品を通じて小布施町を応援していただくという考えのもと、ふるさと納税事業に取り組んでいきます。

生涯を送るうえでも重要な役割を担っています。

歯の喪失が少なく、よく噛める高齢者は、活動能力が高いなど、口腔の健康は平衡感覚機能や運動機能の向上などに大きく影響を及ぼすと言われています。

健康の原点ともいえる歯や歯茎それらを含む口腔機能を全般にわたって予防歯科保健施策が、小布施町には不足しています。

A 未就学児の歯科医師による歯科指導、小中学生の歯磨き指導などの他、全町民向けには歯の健康を守る住民の集いを開催しています。

少子化対策としての結婚支援

八代健康福祉課長
社会福祉協議会に委託しています。

桃源荘ゲートボール場の補修

八代健康福祉課長
補修等必要なものはその都度対処し適切に管理していきたい。

Q 歯と口腔の健康を保つということは、年をとっても自分の歯で味わうことができ、食生活が充実するだけでなく、おいしい食事や会話を楽しむことができるなど、健康で質の高

八代健康福祉課長
予防歯科の提唱による生活習慣病対策
全町民向けには隔年で須高3市町村で歯の健康を守る住民の集いを開催

竹内産業振興課長
訪町外国人へのおもてなしはパンフレット等は多言語化した適切な環境整備と、外国人が求める魅力発見について検討したい

で調査研究委員会を組織し、県教育委員会から提示される調査観点を資料に基づき採択します。

「空家特措法」施行後の「空き家条例」の取り扱い

八代健康福祉課長

条例の改正・廃止を検討したい



渡辺建次議員

Q 小布施町は平成26年3月24日に「空き家等の適正管理に関する条例」を施行。国は平成27年5月26日に「空家対策の推進に関する特別措置法」を全面施行しました。憲法第94条は「地方公共団体は、……法律の範囲内で条例を制定することができる」としています。町の対応を伺います。

A 法律との関係を精査し、条例の改正・廃止を検討したい。

Q 命令に従わない土地所有者に対する公表規定について、国の法律では「標識の設置」と規定しているのに対して、町の条例は「役場前掲示板及び町ホームページ」の掲載をもって行うものとする」と規定しています。本来、公表の目的は義務履行確保や情報提供であって罰則的效果を狙うべきではないと思います。

A 法律は、標識の設置以外、省令や国の指針で、市

町村の認める方法で公示しなければならぬとされています。

中島教育長
小中学校用教科書の採決（選定）基準は地区協議会と調査研究委員会の合同会議で決定します

Q 2014年8月に、教科書出版社である三省堂が、「編集会議」を開き、長野県の教員らを招き、検定規則で禁止されているのに検定中の教科書を見せて現金5万円を渡していたとのこと。その他の出版社では、東京書籍や光村図書などが、1万円から2万円を渡していたとのこと。

A 小布施町の小中学校用教科書は、どのような人物により、どのような基準で選定されるのですか。小布施町は須坂市、高山村と共に共同採択をしています。教科書毎に4〜5名の委員



関谷明生議員

「住みたい田舎ベストランキング」への参加は

市村町長

小布施町の魅力を充分お伝えできないと考える

Q 「住みたい田舎ベストランキング」は定住促進に積極的な市町村を対象に、住みたい田舎の視点として10ジャンル106項目にアンケートを実施し、田舎暮らしの魅力の数値化、ランキングで紹介し大反響を呼んでいます。この企画は4年経過しますが本町への調査エントリーの依頼が今までにあったのでしょうか。

A 町が行ってきた移住定住策と評価する視点が異なる

「住みたい田舎ベストランキング」の評価は。大分県豊後高田市が4年連続ベスト3の快挙を成し遂げました。定住者目線のきめ細やかな121政策の移住支援事業により成果を上げています。どのように受け止めますか。

方移住を考える上で信頼のおける貴重な情報源の一つであり、大きな影響があるものと思います。豊後高田市は体系的に整理され充実した支援策の数々と情報発信の工夫、そして民間事業者と一体となった受け入れ体制の構築など努力されている結果と感じています。

Q 「住みたい田舎ベストランキング」の評価は。大分

A ランキングは、質問によっては回答する側の捉え方次第で結果が異なり、移住者の評価ではなく、行政側の評価が反映されたものになっていいると考えますが、田舎暮らしに憧れる方々にとっては、地

A 町が行ってきた移住定住策と評価する視点が異なる

参加の提案もいただいたので利点を検討し町民皆さんの意見も伺い対応します。

A 町が行ってきた移住定住策と評価する視点が異なる

参加の提案もいただいたので利点を検討し町民皆さんの意見も伺い対応します。



4年連続ベスト3の大分県豊後高田市

参加の提案もいただいたので利点を検討し町民皆さんの意見も伺い対応します。

ムクドリ被害の現状と対策は

八代健康福祉課長
猟友会に駆除を依頼

Q 小布施町は受賞市町村に遜色ない成績を修めると考えますが参加の考えはいかがですか。

A 参加の提案もいただいたので利点を検討し町民皆さんの意見も伺い対応します。

Q 今年の1月下旬からムクドリが複数の群れをなし町を飛び回っています。電線に止まる姿や空を飛ぶ姿は異様な光景でうるさい鳴き声と共に大量の糞を落とす害を与えています。被害の現状、鳥獣保護法の扱い、効果的な駆除対策はどうですか。

A 被害状況は正確には把握できていません。自治会長や住民の方から苦情をいただいている。鳥獣保護法では狩猟対象の鳥類で、平成26年度は狩猟友会により403羽駆除しています。今後も猟友会に駆除をお願いするとともに、信大中村教授の例も参考に対策を検討していきます。



電線に止まるムクドリの大群



小林 茂議員

国保医療費の課題と対策は

久保田副町長

検診受診率目標を段階的に

「国保税の見直し」説明会において、一人当たりの医療費増の原因は①医療の高度化、高額化②加入者の高齢化が主要因であり、その対策として⑦基本健康診査やがん検診の受診率の向上④ジェネリック医薬品の利用⑤ウォーキングの普及⑥健康づくり研究所の口コモ対応を掲げています。中でも「特定健診・特定保健指導のメリットを活かし、健康日本21」を着実に推進しながら医療費の抑制をするための課題と現状の取り組み、今後の具体的行動について。

Q ビックデータと言われている「国保データベース」の出力で、町が現在利用できるデータと今後の予定。その活用計画は。

A 現在は特定健診の受診状況、生活習慣病の疾患別治療者数の構成割合や医療費などの分析に利用している。検診、医療介護の様々なデータ活用ができ、健康課題の把握ができます。今後、医療費の抑制を目指して有効活用していきたい。

Q 基本健康診査の受診率目標を段階的に設定し、地域の力を活用しながら達成のための組織的取り組みの考えは。

A 2年以内に50%、5年以内60%の目標を達成したい。各種団体や保健福祉委員会が主体となる地区学習会に出向き健康や検診の大切さを説明していく。

Q 特定保健指導の対象者数（動機付け支援・積極的支援）とサポート状況は。

A 平成26年度は特定保健指導対象者109人中81人に対して指導を行った。終了率は

Q ウォーキングのコース作成と整備の進捗状況、普及率と目標は。

A 50あまりのウォーキングに適したコースを選定し、

そのうち10コースのマップを作成した。健康福祉センターや駅構内に置いた。町民の皆さんにはあらためてお知らせしていきたい。特定健診対象者の問診票に「30分以上の運動を週2回1年以上しているか」「1時間以上の歩行または同等の身体活動をしているか」の項目があり、これらの集計結果の数値は県平均を下回っているが、この数値を上げていくのも一つの日やすと考える。ウォーキングによる健康づくりを健康福祉委員さんの地区学習会などで呼びかけていきたい。

高山・小布施の全議員が町内運動施設の視察研修



ボルダリング施設に興味津々



熱の入ったウォーキング講習



小林正子議員

子ども医療費窓口無料を

八代健康福祉課長

国のペナルティーある。県の動向見て

市村町長

窓口無料必要。課題の解消を考えたい

Q 小布施町は18歳まで医療費無料だが一旦は病院窓口で自己負担分を払う「償還払い」。窓口無料：行政用語の「現物支給」は子育て家庭のことも強い要望です。少子化対策、子育て支援の真ん中の施策に国はペナルティーを科しているが、厚労省も見直しを検討している。県に對して強く実施を求めるとともに、町独自でも実施してほしい。

A 窓口無料は医療費が増大金が減額される。小布施町の場合で約700万円の減額。国保連の事務システムの改修も課題となっており、個々の市町村では窓口無料化は難しい。県も厚労省のペナルティー解消の検討状況を見てと言っている。

Q 輪島市は独自に実施し石川県も窓口無料に踏み切った。坂城町は事前医療費貸付制度を考えた。窓口無料になったら子育てのお母さんたちがどんなに助かるかと思うが。

Q 坂城を注目している。町の医療費貸付も利用してほしい。

A 窓口無料に工夫や努力を。町長はどう考えますか。(町長) 小林議員から何回もこの問題を取り上げて質問いただき、窓口無料は必要と思う。課題をどう解消できるか考え、県や町村会に窓口無料を強く要望していきます。

保健師さん増員して訪問活動の充実を

八代健康福祉課長

訪問がんばっています

Q 保健師さんの地域や家庭への訪問は大事です。28年度の町の重点施策に「出向いて健康づくりのお手伝い」が入られたのは歓迎。①乳幼児健診、がん検診などの結果についての訪問相談、指導はどうしているか。②高齢者や障がい者世帯への訪問は。③訪問を充実させるには保健師さん

の人員配置が必要。①健診に対しては保健師はじめ専門家スタッフが相談訪問し、専門機関を紹介している。がん検診で要精密検査の方へは受診を勧奨。②「お元氣訪問」で今年度は120世帯の訪問を予定、9割終了。障がいのある方へは必要に応じて地区担当の保健師が訪問、サービス利用につなげている。③人員増は難しいが、できるだけ頑張っています。

要支援の介護外し町の対応や予算見込

八代健康福祉課長

検討の協議会に60人参加

Q スタート当初は「家族介護からの解放」「民間参入でサービス充実」「サービス選択の権利」などと国民に持たせた期待はどこへ行つたか。国が介護保険から外す「要支援」の方への、訪問介護と通所介護にかわる町の

意見交換などの様子を学ぶために来町。※西会津町の人口は6900人、議員数16人

方針の進行状況と、予算の見通しはどうか。

A 協議会を立ち上げ小布施らしい支え合いづくりを進める。介護保険事業所の意向を確認して受け入れ先を具体的に検討し、収支バランスから単価を設定したい。予算は今までと大きく変わらない見込み。

Q 委託する事業所やグループへの報酬や利用料はどうなるか。
A 介護保険の範囲内でまず提案することになると考えます。
Q 国はさらに要介護のサービス外しも検討している。これに地方から反対の声をあげるべきですが。
A 国の方針が決まっているので答えられない。介護保険制度に係る費用は膨らむので健康や介護予防に努めていきたい。



脳リフレッシュ教室の交流会

議会日誌

研修を町政に活かす!!

議員自ら、体験



小布施オープンオアシスボルダリング

高山村議会と議員研修会

1月26日高山村議会の皆さんと小布施町スポーツ施設を視察しました。

最初に小布施オープンオアシスボルダリングの市川代表より「まずは安全第一に心がけ、小さいお子さんから高齢者まで幅広く楽しめる場です。」と説明いただき、実際手をかけ足をかけ壁登りに挑戦する方も！次に浄光寺

2月10日小布施まちづくり委員会との懇談会が開催されました。委員会の活動や千曲川ハイウェイミュージアムの有効活用等の提言実績の説明後、議員定数問題や議員成り手不足の原因、また町政に関心を持てるような取り組みが重要ではないか等、住民参画のまちづくりの在り方について活発な意見交換を行いました。

まがひのついでに懇談会

スラックラインにて、林住職にパーク内を案内していただきました。利き足5秒間静止できると初級10級合格です。最後に健康福祉センターにて丸山運動指導士より正しいウォーキングなどご指導いただき良い汗をかきました。

中野市・小布施町・山ノ内町の議会議員親善球技大会

2月15日3市町による、議会親善球技大会が開かれました。

中野市が2チーム、山ノ内3チーム、小布施町2チームの計8チーム42名参加のもとゲールゲーム等のゲームを行いました。



西会津町議員と懇談

部落解放同盟小布施町協議会と懇談

ゲームを通じ、議員の親睦も図られ、有意義なものとなりました。試合の結果は小布施Aチームが三位となりました。

2月28日部落解放同盟と懇談会を行いました。協議会は3支部で構成され、15世帯の会員で活動を行っており、各種交流会や取り組みに参加、未だに続く様々な差別的現状の報告を受けました。

福島県西会津町議会視察

通年会期制について、導入までの経緯や運営状況また、議会報告会の取り組みでは町民と



議事調査部の講義

議会運営の実務を研修

の報告をさせていただきます。定数問題ではただ減らせばいいと言う訳ではないとの意見もありました。

県町村議会議長会主催の「正副議長と正副常任委員長研修会」が1月28日、長野県自治会館で開催されました。当議会からは9人の議員が参加し、町村議会の諸課題と取り組み例の報告、本会議・委員会の運営に関する事例研究を学びました。